

金の輪

小川未明

青空文庫

太郎は長い間、病気で臥していましたが、ようやく床から離れて出られるようになりました。けれどまだ三月の末で、朝と晩には寒いことがありました。

だから、日の当たっているときには、外へ出ておきかえなかつたけれど、晩方になると早く家へ入るように、お母さんからしいきかされていました。

まだ、桜の花も、桃の花も咲くには早うございましたけれど、梅だけが垣根のきわに咲いていました。そして、雪もたいてい消

えてしまつて、ただ大きな寺の裏や、圃のすみのところなどに、
幾分か消えずに残つていらぬものでもありました。

太郎は、外に出ましたけれど、往來にはちようど、だれも友
だちが遊んでいませんでした。みんな天氣がよいので、遠くの方
まで遊びにいったものとみえます。もし、この近所であつたら、
自分もいつてみようと思つて、耳を澄ましてみましたけれど、そ
れらしい声などは聞こえてこなかつたのであります。

ひとりしよんぼりとして、太郎は家の前に立つていましたが、圃
には去年取り残した野菜などが、新しく緑色の芽をふきま
したので、それを見ながら細い道を歩いていました。

すると、よい金の輪の触れ合う音がして、ちようど鈴を鳴らす

ように聞こえてきました。

かなたを見ますと、往來の上を一人の少年が、輪をまわしながら走つてきました。そして、その輪は金色に光つていました。太郎は目をみはりました。かつてこんなに美しく光る輪を見なかつたからであります。しかも、少年のまわしてくる金の輪は二つで、それがたがいに触れ合つて、よい音色をたてるのであります。太郎はかつてこんなに手際よく輪をまわす少年を見ることがありません。いったいだれだろうと思つて、かなたの往來を走つてゆく少年の顔をながめました。まったく見覚えのない少年でありました。

この知らぬ少年は、その往來を過ぎるときに、ちよつと

太郎たろうの方ほうを向むいて微笑びしょうしました。ちようど知しつた友ともだちに向むか
つてするようなに、懐なつかしげに見みえました。

二

輪わをまわしてゆく少しょう年ねんの姿すがたは、やがて白しろい路みちの方ほうに消きえて
しままいました。けれど、太郎たろうはいつまでも立たつて、その行方ゆくえを見み
守まもつていました。

太郎たろうは、「だれだらう。」と、その少しょう年ねんのことことを考かんえまし
た。いつこの村むらへ越こしてきたのだらう？ それとも遠とい町まちの方ほうか
ら、遊あそびにきたのだらうかと思おもいました。

明くる日の午後、太郎はまた圃の中に出てみました。すると、
 ちようど昨日と同じ時刻に、輪の鳴る音が聞こえてきました。太
 郎はかなたの往來を見ますと、少年が二つの輪をまわして、
 走つてきました。その輪は金色に輝いて見えました。少年
 はその往來を過ぎるときに、こちらを向いて、昨日よりもいっ
 そう懐かしげに、微笑んだのであります。そして、なにかいい
 げなようすをして、ちよつとくびをかしげましたが、ついそのま
 まいつてしまいました。

太郎は、圃の中に立つて、しよんぼりとして、少年の行方
 を見送りました。いつしかその姿は、白い路のかなたに消えてし
 まったのです。けれど、いつまでもその少年の白い顔と、微

しょう
笑とが太郎の目に残つていて、取れませんでした。

「いったい、だれだろう。」と、太郎は不思議に思えてなりませんでした。いままで一度も見ることがない少年だけ、なんとなくいちばん親しい友だちのような気がしてならなかったのです。

あした
明日ばかりは、ものをいってお友だちになろうと、いろいろ空
うそう
想を描きました。やがて、西の空が赤くなつて、日暮れ方にな
りましたから、太郎は家の中に入りました。

その晩、太郎は母親に向かつて、二日も同じ時刻に、金の輪
をまわして走っている少年のことを語りました。母親は信
じませんでした。

太郎は、少年と友だちになつて、自分じぶんは少年しょうねんから金きんの
 輪わを一つ分わけてもらつて、往おう来らいの上うへを二人ふたりでどこまでも走はしつて
 ゆく夢ゆめを見みました。そして、いつしか二人ふたりは、赤あかい夕ゆう焼やけ空ぞらの中なか
はいに入いつてしまつた夢ゆめを見みました。
あ明あくる日ひから、太郎たろうはまた熱ねつがで出でました。そして、二、三日にちめ
 に七なつで亡なくなりました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 Ⅰ」講談社

1976（昭和51）年11月10日第1刷

1977（昭和52）年C第3刷

初出：「読売新聞」

1919（大正8）年1月21～23日

※表題は底本では、「金《ぎん》の輪《わ》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：江村秀之

2013年9月23日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

金の輪

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>